

様式 1

県立古河第三高等学校【総合的な探究の時間】全体計画（令和 8 年度）

学校の教育目標

「自立・敬愛・創造」の校訓のもと、自力で自らの立ち位置を定め、自他共に尊重し、新たなものを創り出そうとする気概と柔軟さを持って広く社会に貢献できる人材を育成する。

- 自ら学び、考え、判断し、行動できる生徒を育む学校
- 自他共に尊重し、思いやりの心にあふれた生徒を育む学校
- 柔軟な思考で、気概を持って未来を切り拓く力をそなえた生徒を育む学校

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
総合的な探究の時間「SS」の活動を通じて身につけた知識やスキルを活用し、自己の在り方や生き方を考えながら、主体的に課題を発見・解決するための資質や能力を育成する。	①自らの興味関心や将来の進路を見すえ適切な課題を発見し設定している。 ②探究活動で得た情報を効果的に発信するための方法を検討し、実施する。 ③様々な角度で検証・考察を行い、課題解決に向かって探究活動を行っている。	・不登校傾向にある生徒及び家庭への支援 ・SC、教育関係機関との連携 ・情報共有(SC と関係職員とのコンサルテーション) ・生徒との面談 ・オープンスペースの整備

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	SS1(グループによる課題発見から解決) 「地域」「企業」「学校」「研究」の4つの対象から探究する。	地域の行政機関や地元企業と連携し、探究活動や成果発表等に助言や協力をいただく。	学びに向かう力、人間性等 「合意形成の力」
2 年	SS2(個人での探究と新しい発見) 「自立」「敬愛」「創造」の3つの領域で探究・研究する。	外部専門機関・地域、専門家による評価、助言を受け、探究の更なる広がりを目指す。	思考力・判断力・表現力 「適切に発信する力」「プレゼンテーション力」
3 年	SS3(キャリアとのマッチングと自己実現)	関係する外部の発表の機会に積極的に参加し、生徒の発信力を向上させる。	知識・技能 「情報収集力」「情報整理力」 「データ分析力」